

間人中学校

昭和	22年	4月	学制改革により、間人町・竹野村組合立間人中学校を間人小学校に、豊栄中学校を豊栄小学校に併設し発足（5月3日開校式）
	24年	4月	組合立間人中学校、豊栄中学校、組合立宇川中学校を合併し、5ヶ町村の組合立間人中学校として新発足し、宇川中学校は分校
		10月	本校新校舎（木造）が現在地に完成し移転
	25年	4月	校章制定
		11月	体育館完成
	26年	1月	寄宿舎完成
	27年	7月	グラウンドにスタンド完成
	29年	8月	自転車小屋完成
	30年	2月	町村合併により丹後町立間人中学校と改称
	32年	1月	同窓会発足
		4月	宇川中学校、分校から本校に独立
	33年		校歌制定
		3月	給食室完成、学校給食開始
		10月	十周年記念式典、記念運動会を開催
	40年	3月	新校舎（鉄筋コンクリート）改築、第一期工事完成
		4月	障害児学級開設
	41年	3月	第二期・三期工事完成、新校舎落成式
		7月	給食室完成
	42年	3月	体育館完成、落成式
	50年	5月	アスファルトテニスコート二面完成
	51年	12月	第二体育館完成
	53年	7月	同窓会再編成
		12月	同窓会創立三十周年記念、同窓会名簿発行
	56年	1月	給食調理室完成
	57年	9月	体育館便所完成
	61年	8月	図書館、保健室、被服室床面完成 校長室、印刷室、職員更衣室改修
	63年	3月	校門、門柱設置
		10月	京都国体に役員・補助員として参加
		11月	同窓会創立四十周年記念式典
平成	元年	8月	グラウンド防球ネット設置
	2年	4月	京都府教育委員会「運動部活動研究推進校」指定
	3年	11月	京都府教育委員会「運動部活動研究推進校」研究発表
	4年	12月	コンピュータ室設置
	6年	4月	京都府教育委員会「未来デザイン推進校」指定
		10月	情報センター設置
	8年	11月	京都府教育委員会「未来デザイン推進校」進路指導研究発表会
	11年	4月	京都府教育委員会「総合的な学習の時間研究推進校」指定
	12年	6月	校舎大規模改修（壁面塗り替え工事・水回り工事・総工費2億円）
		11月	京都府教育委員会「総合的な学習の時間研究推進校」研究発表会
	13年	4月	「こころの教室相談員」の配置、少人数授業（理科・数学）開設
	14年	8月	体育館照明修理、野球バックネット取り替え、少人数授業（英語）開設
	16年	4月	丹後6町が合併「京丹後市」誕生、「京丹後市立間人中学校」となる
	20年	11月	京丹後市教育委員会指定「教育実践モデル校」実践発表
	21年	8月	地域貢献活動実施
		9月	吹奏楽ミニコンサート開催
	22年	4月	京都府教育委員会・京丹後市教育委員会指定「学力向上実践校」（2年間）
	23年	11月	「学力向上実践校」研究発表
	24年	6月	新体育館完成
		12月	校舎耐震補強工事ならびに大規模改修工事終了（H24年6月～）
	26年	3月	京丹後市学校再配置事業により京丹後市立間人中学校閉校

宇川中学校

昭和	22年	5月	昭和22年学制改革（6・3制）に伴い、京都府竹野郡上宇川村・下宇川村・竹野村組合立宇川中学校として発足
			校舎 下宇川小学校に併設（学級数6） 生徒数 242名（1年92名、2年88名、3年62名）
	24年	4月	京都府竹野郡組合立間人中学校宇川分校と改称。校舎は、下宇川小学校に併設
		5月	育友会発足（会員数240名）
	32年	4月	京教委告示第9号により、丹後町立宇川中学校として独立発足。校舎は、下宇川小学校に併設
		7月	校章・校歌の決定 校章 舞鶴市 木本 保氏 校歌作詞 丹後町 小倉 尉成氏 校歌作曲 丹後町 今西 謙吉氏
		11月	新校舎竣工式
		12月	校舎移転（下宇川小学校より蓬ヶ丘の新校舎へ）
	33年	2月	学校給食実施
		10月	体育館竣工式
	41年	12月	寄宿舎高嶋寮完成、移管受け入れ（7.2竣工式 42.3.8落成式）
	43年	3月	同窓会創立（同窓生1,898名）
	54年	8月	給食調理室新築完成
	57年	1月	新校舎完成（総工費4億6,500万円）
	58年	3月	新体育館完成
平成	4年	4月	文部省「道徳教育推進校」指定（2年間）
		9月	屋外運動場拡張完成（総工費61,828,500円）
	5年	10月	文部省「道徳教育推進校」研究発表会
	6年	11月	コンピュータ教室設置（21台）（総工費29,637,000円）
	8年	4月	京都府教育委員会「教育実践パイロット校特別活動」指定（2年間）
		11月	京都府教育委員会「教育実践パイロット校特別活動」教育局別研究発表会
	9年	11月	京都府教育委員会「教育実践パイロット校特別活動」研究発表会
	12年	4月	京都府社会福祉協議会「学童・生徒のボランティア活動普及事業」推進校指定（3年間）
		5月	宇川中学校「心の教育」連絡会議発足 「心の教室」開設
	13年	8月	コンピュータ設置（34台）
	14年	4月	京都府教育委員会「地域ふれあい体験活動」推進校の指定をうける。（宇川小学校とともに2年間）
	15年	11月	京都府教育委員会指定「体験活動交流フォーラム」研究発表
	16年	4月	町村合併により京丹後市立宇川中学校となる。
	19年	8月	コンピュータ更新（23台）
	20年	4月	京都府教育委員会「京の子ども、夢・未来校（教育課題対応校）」指定（2年間）
	21年	11月	京都府教育委員会「京の子ども、夢・未来校（教育課題対応校）」研究発表会
	23年	4月	京都府教育委員会「京の未来創造校（小中連携）」指定（2年間）
	24年	11月	京都府教育委員会「京の未来創造校（小中連携）」研究発表会
	26年	3月	京丹後市学校再配置事業により京丹後市立宇川中学校閉校

丹後中学校

平成	26年	4月	京丹後市学校再配置事業により京丹後市立間人中学校及び京丹後市立宇川中学校を再配置し、京丹後市立丹後中学校が開校する（開校式4月8日）
	28年	4月	「丹後学園」として丹後中学校区の園・所・学校が小中一貫教育を実施する。（京丹後市全市展開の年となる。）